利用者別フィードバック　自立支援促進加算

○ 利用者別フィードバックでは、利用者の現在の状況およびその推移を確認することができます。

<データ解釈時の注意点>

以下の①～③は、データを解釈する際の注意点です。

① 指標の値及びその変化は、必ずしもケアや状態の良し悪しを反映するものではありません。

② 利用者の背景や利用目的、対象期間中に実施した取組、利用者毎の状況（入院があった、他のサービスを利用していた等）など、様々な要因が関連します。

③ 対象期間中に、利用者にどのような変化があったか、どのような取組を実施したか等の状況も考慮しながら、本フィードバックの結果を解釈し、事業所におけるサービス改善に向けた検討の材料としてご活用ください。

利用者別フィードバックで示す状態の「変化」について

↑ ↓ は、状態が変化をしていること、 → は状態が維持されていることを示しています。

↑ については良い方向への変化の可能性があり、 ↓ については必ずしも良い方向への変化とは言えない可能性があります。

事業所番号	：9999999999	サービス	：サンプルサービス
集計時点	：2022年4月　登録分		
事業所名称	：サンプル施設		
利用者番号	：000010		

事業所番号　：9999999999　　サービス　　：サンプルサービス　　集計時点　：　2022年4月 登録分
事業所名称　：サンプル施設
利用者番号　：000010

■現状の評価と支援計画実施による改善の可能性

評価日	3か月前：　2021/1/4	直近：　2022/4/5	変化
日常生活自立度（身体機能）	J1	J2	↓
日常生活自立度（認知機能）	Ⅱa	自立	↑

【メモ欄】（事業所内で解釈や考えられる要因などについて議論を行った内容を記載する場合にお使いください。）

		3か月前：　2021/1/4	直近：　2022/4/5	変化
基本動作	寝返り	一部介助	見守り	↑
	起き上がり	一部介助	見守り	↑
	座位の保持	一部介助	見守り	↑
	立ち上がり	一部介助	一部介助	→
	立位の保持	一部介助	一部介助	→
ADL	食事	一部介助(5)	自立(10)	↑
	椅子とベッド間の移乗	座れるが移れない(5)	座れるが移れない(5)	→
	整容	一部介助(0)	自立(5)	↑
	トイレ動作	一部介助(5)	一部介助(5)	→
	入浴	自立(5)	自立(5)	→
	平地歩行	歩行器等(10)	車椅子操作が可能(5)	↓
	階段昇降	一部介助(5)	一部介助(5)	→
	更衣	一部介助(5)	一部介助(5)	→
	排便コントロール	一部介助(5)	一部介助(5)	→
	排尿コントロール	一部介助(5)	一部介助(5)	→
尊厳の保持と自立支援のために必要な支援計画	尊厳の保持に資する取組	有り	有り	→
	本人を尊重する個別ケア	有り	有り	→
	寝たきり防止に資する取組	無し	有り	↑
	自立した生活を支える取組	有り	有り	→
医学的観点からの留意事項	血圧	無し	無し	→
	摂食	有り	無し	↑
	嚥下	有り	有り	→
	移動	有り	有り	→
	運動	有り	有り	→
	その他	無し	無し	→

【メモ欄】（事業所内で解釈や考えられる要因などについて議論を行った内容を記載する場合にお使いください。）

■支援実績（離床・基本動作）

			3か月前：　2021/1/4	直近：　2022/4/5	変化
離床	有無		有り	有り	→
	1日あたり（時間）		6	7	↑
座位保持	有無		有り	有り	→
	1日あたり（時間）		3	5	↑
	内訳	ベッド上	2	1	
		車椅子	1	2	
		普通の椅子	0	2	
		その他	0	0	
立ち上がり	有無		有り	有り	→
	1日あたり（回）		3	5	↑

【メモ欄】（事業所内で解釈や考えられる要因などについて議論を行った内容を記載する場合にお使いください。）

■支援実績（ADL動作）

			3か月前：　2021/1/4	直近：　2022/4/5	変化
食事	食事		一部介助	一部介助	→
		居室外（普通の椅子）	無し	有り	
		居室外（車椅子）	有り	無し	
		ベッドサイド	無し	無し	
		ベッド上	無し	無し	
		その他	無し	無し	
	食事時間や嗜好への対応		有り	有り	→
排せつ（日中）	排せつ（日中）		一部介助	一部介助	→
		居室外のトイレ	無し	有り	
		居室内のトイレ	有り	無し	
		ポータブルトイレ	無し	無し	
		おむつ	無し	無し	
		その他	無し	無し	
	個人の排せつリズムへの対応（日中）		無し	有り	↑
排せつ（夜間）	排せつ（夜間）		一部介助	一部介助	→
		居室外のトイレ	無し	有り	
		居室内のトイレ	有り	無し	
		ポータブルトイレ	無し	無し	
		おむつ	無し	無し	
		その他	無し	無し	
	個人の排せつリズムへの対応（夜間）		無し	有り	↑
入浴	入浴		一部介助	一部介助	→
		大浴場	無し	無し	
		個人浴槽	無し	有り	
		機械浴槽	無し	無し	
		清拭	有り	無し	
	１週間あたりの入浴回数		2	3	↑
	マンツーマン入浴ケア		無し	有り	↑

【メモ欄】（事業所内で解釈や考えられる要因などについて議論を行った内容を記載する場合にお使いください。）

■支援実績（日々の過ごし方等）

	3か月前： 2021/1/4	直近： 2022/4/5	変化
本人の希望の確認	1月あたり 2 回	1月あたり 3 回	↑
外出	1週間あたり 1 回	1週間あたり 2 回	↑
居室以外における滞在	1日あたり 2 時間	1日あたり 1 時間	↓
趣味・アクティビティ・役割活動	1週間あたり 1 回	1週間あたり 1 回	→
職員の居室訪問	1日あたり 4 回	1日あたり 4 回	
職員との会話・声かけ	1日あたり 5 回	1日あたり 5 回	
着替えの回数	1週間あたり 3 回	1週間あたり 3 回	
居場所作りの取組	有り	有り	→

【メモ欄】（事業所内で解釈や考えられる要因などについて議論を行った内容を記載する場合にお使いください。）

■支援実績（訓練時間）

		3か月前： 2021/1/4	直近： 2022/4/5	変化
リハビリ専門職による訓練	有無	有り	有り	→
	1週あたり（時間）	2	1	↓
看護・介護職による訓練	有無	有り	有り	→
	1週あたり（時間）	1	2	↑
その他職種による訓練	有無	有り	有り	→
	1週あたり（時間）	1	2	↑

【メモ欄】（事業所内で解釈や考えられる要因などについて議論を行った内容を記載する場合にお使いください。）

＜日常生活自立度（身体機能）の判断＞
判定に際しては「～をすることができる」といった「能力」の評価ではなく「状態」、特に『移動』 に関わる状態像に着目して、日常生活の自立の程度を 4 段階にランク分けすることで評価するものとします。
【出典】認定調査員テキスト2009改訂版（令和３年４月改訂）

生活自立	ランクＪ	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する
		1. 交通機関等を利用して外出する
		2. 隣近所へなら外出する
準寝たきり	ランクＡ	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない
		1. 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する
		2. 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている
寝たきり	ランクＢ	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ
		1. 車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う
		2. 介助により車いすに移乗する
	ランクＣ	1 日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する
		1. 自力で寝返りをうつ
		2. 自力では寝返りもうてない

※判定に当たっては、補装具や自助具等の器具を使用した状態であっても差し支えありません。

＜日常生活自立度（認知機能）の判断＞
【出典】認定調査員テキスト2009改訂版（令和３年４月改訂）

ランク	判断基準
Ⅰ	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。
Ⅱ	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。
Ⅱａ	家庭外で上記Ⅱの状態がみられる。
Ⅱｂ	家庭内でも上記Ⅱの状態が見られる。
Ⅲ	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。
Ⅲａ	日中を中心として上記Ⅲの状態が見られる。
Ⅲｂ	夜間を中心として上記Ⅲの状態が見られる。
Ⅳ	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。
Ｍ	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。